東京農業アカデミー八王子研修農場

農業技術や経営ノウハウ等の習得を中心に農外からの新規就農希望者を支援



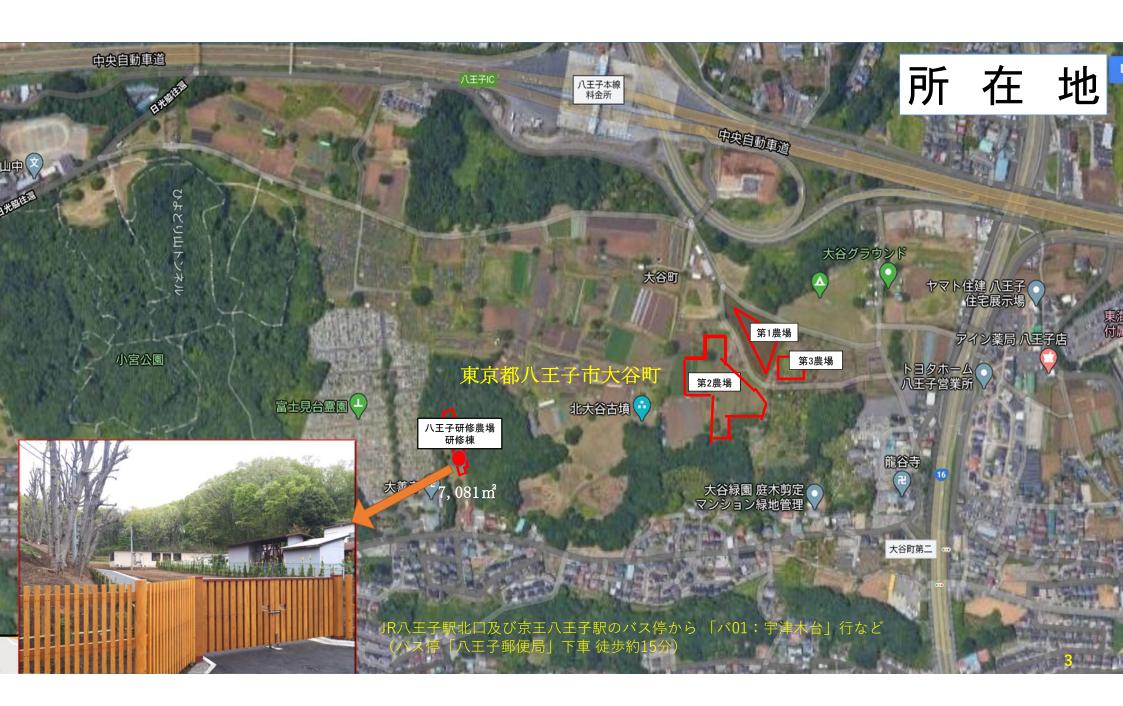
東京農業アカデミー八王子研修農場事業の目的

東京農業の活性化と持続的発展のためには、**今後を担う農 業後継者や農外からの新規就農者の確保と定着が不可欠**

これまで都には、農外からの新規就農希望者が農業の技術 や経営に必要な知識を学ぶ施設がない状況

そこで、令和2年度から就農希望者が実践的な栽培技術や 農業経営に関する知識を習得するための研修農場事業を立ち 上げ、東京農業の担い手の確保・育成を図る

(東京都が施設等を設置、財団が研修事業を管理運営)





八王子研修農場事業

- ⇒ 新たに農業への参入を希望する者が就農に必要な農業技術等を体系的に習得するための研修農場を開設し、都内での 就農を促進する。
 - ■施設名称 東京農業アカデミー八王子研修農場
 - ■開設年度 令和2年度(2020年)
 - ■研修期間(受入人数) 2年間(毎年5人程度)
 - ■研修内容
 - ・農場を活用した「栽培実習」と講義形式による「座学」、市場や先進農家の視察などを実施
 - ・就農に向けたフォローにより、農地を確保し、 スムーズな就農および定着を支援

■事業計画

| R1 | R2 | R3 | R4 | R5 | |
|--|-------------|----------|----|---------------|--|
| 施設整備(生産施設、研修棟、農産物 倉庫等)、研修用機械の導入<直営> | | | | | |
| 研修農場運営開始<補助> | | | | | |
| 第1期生 | < | | | 順次3、 | |
| | 第2期生 | 4 | | 順次3、 4・・期生 | |

| | 栽培実習 | 座学 | 就農準備 |
|-----|---|--|--|
| 1年目 | 栽培指導員による指導 下で、作業内容を教わ りながらの圃場実習 | 栽培技術の座学講習 (野菜栽培の基礎、 病害虫防除、施肥管 理等) | 指導農業士への派遣 研修等により就農イ メージを醸成 |
| 2年目 | 栽培指導員と相談しな がら作付計画を立て、 各自に割り当てられた 区画圃場で実習 | 就農に向けた座学講習(法整備・農地制度・農業経営等) | 就農希望先の先進農 家への派遣研修等に より、地域への就農 定着を支援 |

事業種別 補助事業((公財)東京都農林水産振興財団)

直営事業(施設整備)

R3年度予算額 259百万円 事業開始年度 令和2年度

5

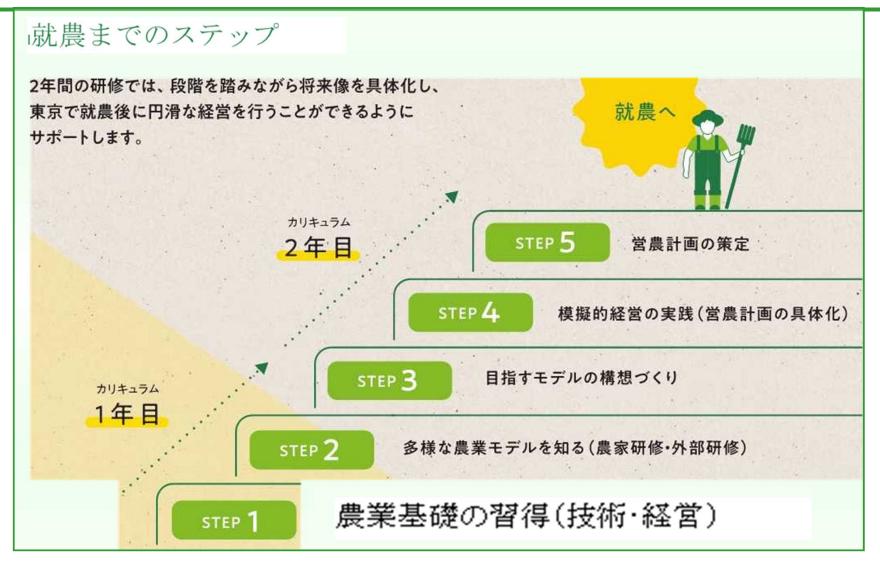
研修内容等

1 研修の目標(到達点)

- (1) 農外から新たに就農を希望する者に、実践的な農業技術や農業経営に関する知識を習得させる。
- (2) 研修中から、就農先の農家や区市町村、農協の紹介、既に参入している新規就農者との連携をつくることで、研修終了後、都内で就農できるようサポートするとともに、就農早期に経営が安定できる支援体制を構築する。
- ▶ 2 研修時間(2640時間以上、各年次1320時間以上)
 - (1)講義(1年次111時間、2年次33時間、座学) 作物の栽培に必要な基礎知識、経営する上で必要な法制度や農業簿記等の習得
 - (2) 演習(42時間) 1年次84時間、2年次219時間、座学) 農業機械や施設などを実際に扱い、正しい利用・管理方法等の習得 (2年生は、経営分析演習、就農準備、研修成果レポートの作成等)
 - (3)外部研修(1年次156時間、2年次318時間、座学) 農家や卸売市場の視察や農家への派遣研修を行い、経営者としての感覚を身につける。
 - (4) 栽培実習(ほ場) (1年次975時間、2年次774時間、座学) 研修農場内にあるほ場にて、栽培指導員の指導の下、野菜を栽培し、農業生産に関する一連の作業を実践 することで農業技術を習得

(参考) 研修費用:年間118,800円

独立就農に向けて



時間割(1年生:令和3年度)

| 時限 | 時間 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|----|-------------|----|-------|----|-------------------------|---------|
| 1 | 8:50~10:20 | 実習 | 実習 | 実習 | 実習 派遣研修 [※] | 実習 |
| 2 | 10:30~12:00 | 実習 | 実習 | 実習 | 実習 派遣研修** | 実習 |
| 3 | 13:10~14:40 | 実習 | 講義・演習 | 実習 | 実習 派遣研修 [※] | 実習 |
| 4 | 14:50~16:20 | 実習 | 講義·演習 | 実習 | 実習 派遣研修** | 実習 8 |

時間割(2年生:令和3年度)

| 時限 | 時間 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|----|-------------|----|-------------------------|-------|-------------|----|
| 1 | 8:50~10:20 | 実習 | 派遣研修※ 実習 | 実習 | 派遣研修** 実習 | 実習 |
| 2 | 10:30~12:00 | 実習 | 派遣研修 [※] 実習 | 実習 | 派遣研修** 実習 | 実習 |
| ဢ | 13:10~14:40 | 実習 | 派遣研修※ 実習 | 講義·演習 | 派遣研修※ 実習 | 実習 |
| 4 | 14:50~16:20 | 実習 | 派遣研修※ 実習 | 講義·演習 | 派遣研修** 実習 | 実習 |

栽培実習の様子

















座学、農家派遣、販売、視察研修等の様子













多様な講師陣

- ●都内の指導農業士や篤農家
- ●JA東京中央会 広報農政部 広報農政課
- (一計) 東京都農業会議 業務部
- (一社) 東京都農業会議 経理・担い手担当
- (一計) 東京都農業会議 地域振興コンダクター
- ●JA全農東京 牛産事業部
- ●JA全農東京 生産事業部 生産資材課
- ●JA全農東京 農機サービスセンター
- ●安心農業株式会計
- ●株式会社やまびこもしくは株式会社丸山製作所
- ●株式会社クボタ
- ●NOSAI東京 事業課
- ●麻布大学 動物行動管理学研究室
- ●咲楽AGR I 税理士法人 税理士
- ●General Management Office 中小企業診断士
- ●その他調整中
- デザイン・ブランディング会社
- 東京野菜ネットワーク株式会社
- JA直売所担当もしくは学校給食事業担当
- ・スーパー関係者
- 都内先輩新規就農者など

●東京都関係部署

- 東京都農林水産部農業振興課 企画調整担当
- 東京都農林水産部調整課 制度金融担当
- 東京都農林水産部農業振興課 園芸緑化担当
- 東京都農林水産部食料安全課 生產環境担当
- 東京都農業振興事務所 技術総合調整担当
- 東京都家畜保健衛生所 肥飼料検査センター
- ●農林水產振興財団
- ・東京都農林総合研究センター 園芸技術科、生産環境科、スマート農業室等

●研修農場体制

農場長:都派課長級1名

指導員:都派遣3名(課長代理2・主事2)

指導員補佐(技能):都派遣1名(主任)、固有1名

臨時職員:4名



東京農業アカデミー事業の全体像

• 今後の東京農業の担い手を確保・育成するため、都内への就農希望者及び都内の農業者の全てを対象として、就農検討期から経営発展期に至るまでの各ステージに応じた研修等を実施する。

就農検討期 就農初期 経営発展期 就農準備期 ②情報発信、就農PR ・都内の就農情報の提供や農業現地視察ツ ⑥基礎研修 アー開催による就農イメージ醸成 ・就農後に知識・ ③短期農業体験等 技術・経営のフォ ローアップを行う 新規参入者 ・指導農業士の下で短期間(3~5日)の農作業 ⑦高度栽培技術 2年の研修 体験研修を実施 ①総合相談窓口 ・ICT等の農業者ニー •就農者の農地 ズを踏まえたテーマ別 •相談者の技術レ ⇒女性・青年農業者育成対策 における実技研 講習会の開催 ベルや意向等 (R2予算額:9,218千円) 修(月1回・1年 を受け、適切な ⑧経営戦略 研修等を斡旋 なるステ ・収益力向上やコスト ⇒農業後継者育 削減等により、経営高 ⇒青年農業者確 ・フィールドを活用した実践的な農業技術を習 基礎を固 成対策 保育成対策 度化を支援する講座 得する2年の研修 (R2予算額: (R2予算額: の開催 2,516千円) ⇒八王子研修農場事業 4,098千円) ・女性の感性を活かし (R2予算額:188,406千円) た6次産業化等への ・指導農業士が 支援 持つ栽培技術を プを目指す ⑤技術研修 ⇒意欲的農業者経営 習得する技術研 ・農林総合研究センターで栽培技術等を体系 発展対策 的に学ぶ1年の研修 (R2予算額: (20日程度) 2.724千円) ⇒女性・青年農 業者育成対策に 親元就農者 含む 農業法人等で十分な経験を積んだ独立就農者



研修農場からのメッセージ

- ◎東京農業アカデミー八王子研修農場では、社会経験や年齢などが異なる研修生達が都内で新規就農できるよう様々な栽培技術や知識等の研修を行っています。農業に対する想いや、理想とする農業のかたちは人それぞれですが、研修生達の考えを受入れ、互いに協力しあい、有意義な研修生活が送れるよう努めてまいります。
- ◎東京の農業振興や地域の活性化、農地保全のためにも新たな担い手の確保・育成は大切です。しかし、農外からの就農希望者が、都内で農地を借りて就農し、一定の収入を上げ続けることは大変なことです。区市町村をはじめ、農業団体や関係機関、農業者等の協力がなければ新規就農は困難ですので、関係する皆様方のご理解とご協力・ご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。

また、東京で農家になりたい方に研修農場をご紹介いただければ幸いです。